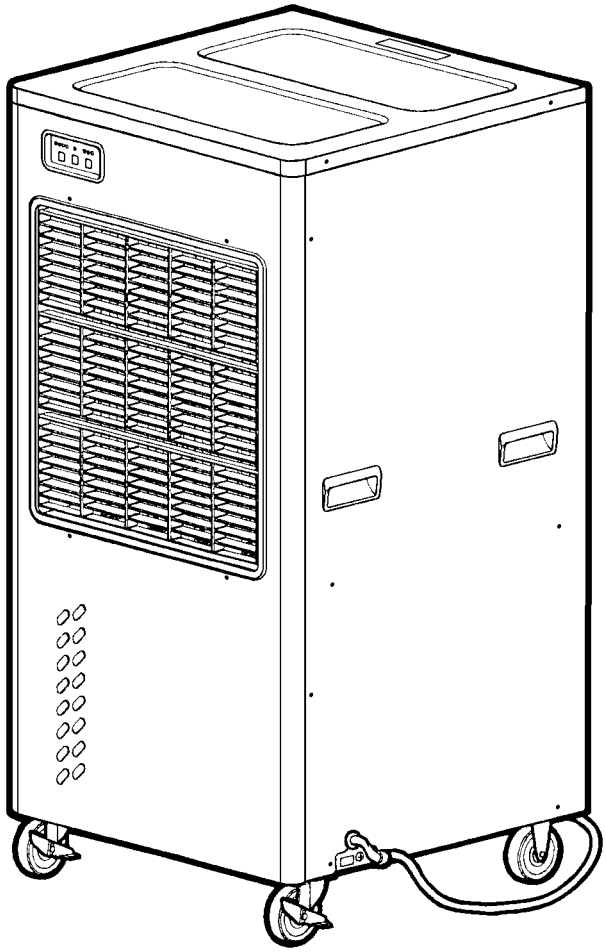
説明書 No.SW-0705

Suiden

冷風扇

アクアスイファン SW-400

取扱説明書



本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。 お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

注記 塩酸や硫酸など、著しく金属を腐食させるガス・蒸気が存在する場所に設置しないでください。
＊性能劣化の恐れがあります。

日本国内１００Ｖ仕様

もくじ

		ページ
1	安全のために必ずお守りください……	1
2	仕様……	3
3	各部の名称と付属品……	4
4	準備……	5
	1.設置 ……	5
	2.本機と電源を接続 ……	5
	3.タンクへの給水 ……	5
5	ご使用方法……	6
	1.操作パネルの名称 ……	6
	2.運転 ……	6
	3.風量調節 ……	6
	4.風向き調節 ……	7
	5.給水ランプ ……	7
	6.タンク ……	7
6	保護装置……	8
7	お手入れと保管……	9
	1.フィルターのメンテナンスと交換 …	9
	2.散水ノズル ……	11
	3.タンク ……	11
	4.外装のお手入れ ……	11
	5.シーズンが終わったら ……	11
8	安全のための点検のお願い……	12
9	こんなときは（故障かな？と思ったら）……	13
10	アフターサービスと保証について……	15
＊	アフターサービスのお申し込みについて…	15

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、◇危険・⚠警告・⚠注意の３つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

◇危険： 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

⚠警告： 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意： 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記： 警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		◇記号は、危険であることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。（左図は感電危険）
		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は高温注意）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースを接地する）

●製品仕様への注意事項

⚠ 注 意
⃠ 決められた製品仕様以外で使用しない。 ＊漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注 意	
● 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	● 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。

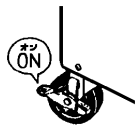
●試運転・運転の際の注意事項

◇ 危 険
⃠ アース線は、ガス管や水道管に接地しない。 ＊爆発・感電の恐れがあります。

⚠ 警　告

濡れた手で、差込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガの恐れがあります。	定格１５Ａ以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。
アースを確実に接地し、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	水・油などをかけない。 ＊火災・感電・漏電の原因になります。
灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などの近くや雰囲気内で使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。

⚠ 注　意

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼する。 ＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。	定格電圧内（100Ｖ±10%）で使用する。 ＊感電やショートして発火の原因になります。
切削油などの鉱物油の立ち込める場所で使用しない。 ＊樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。	運転時は、キャスターのストッパーをＯＮにして固定する。 ＊予期しないときに動くと、ケガや事故の原因になります。 
振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。 ＊転倒などによりケガや事故の原因になります。振動のない水平な場所で使用してください。	屋外や、屋内の水のかかる場所で使用しない。 ＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。
導電体（カーボン・鉄・鋳物・アルミなど）の粉じん発生場所で使用しない。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。	浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。
火気に近づけない。 ＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。	吹出し口に手や指を入れない。 ＊回転部に触れるとケガの恐れがあります。
電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	延長コードを使用するときは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。
電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 危　険
保守・点検の際は、必ず元電源を遮断する。 ＊感電やケガの恐れがあります。

⚠ 注　意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作をすることがあります。	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをする恐れがあります。
	保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをすることがあります。

冷却エレメントについて

① 冷却エレメントは、表面に特殊処理をしていますので、使いはじめに循環水が茶色に変色する場合があります。これは一時的なもので、有害なものではありませんが、循環水の変色が続くようであれば、何回か水の入替えをお願いします。

② 冷却エレメントは、水を浸透させたままの状態で保管するとカビの発生につながり、変色や悪臭の原因になります。万一、臭いが気になる場合は、水道水４０Ｌに、市販の衣料用柔軟剤を適量(2～3cc)混ぜてご使用いただくことをお勧めします。

③ 長期間ご使用にならない場合は、冷却エレメントを取外して、エアーブローや乾燥などのメンテナンスを行ったうえで保管していただきますようお願いします。

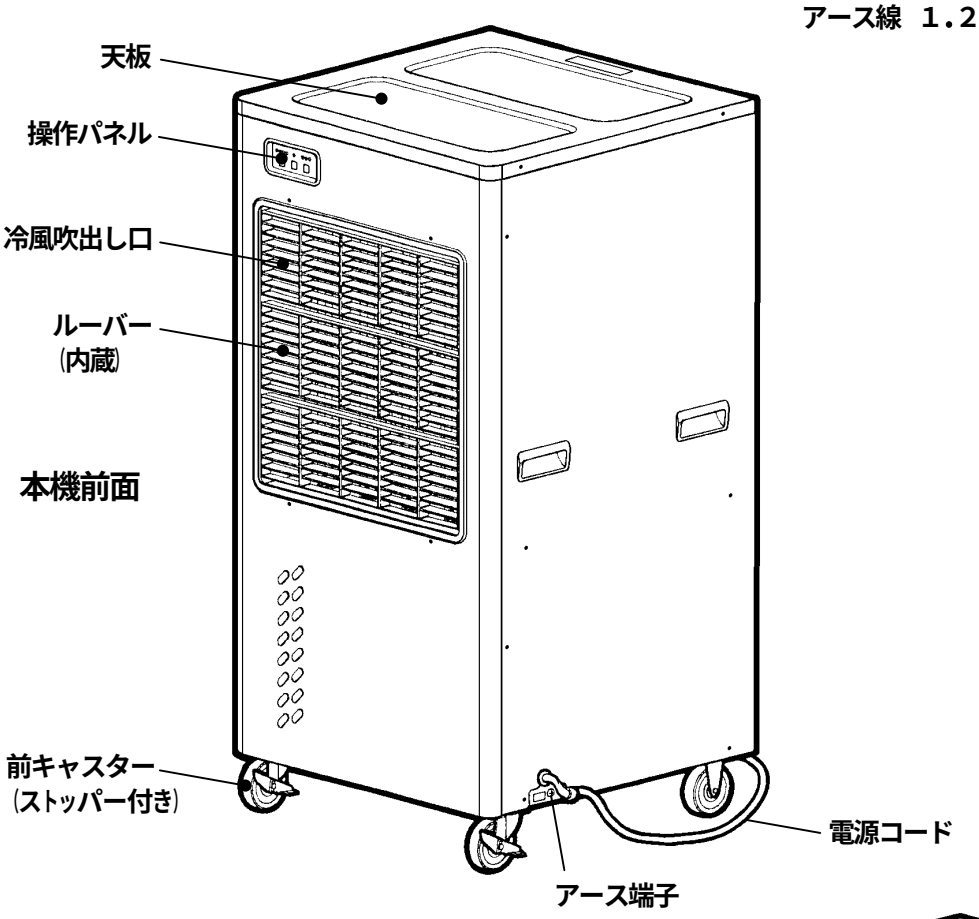
2 仕様

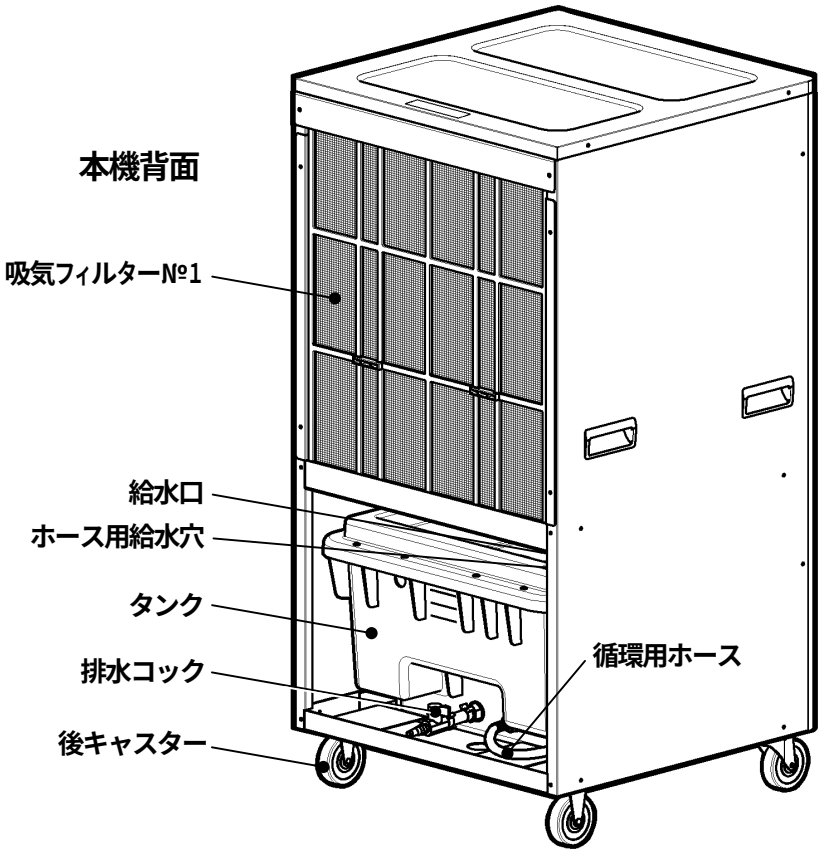
品　番	SW-４００	
電　源	100V	
周波数	50Hz	60Hz
消費電力	170W	230W
最大風量（※）	88m³/min	103m³/min
水蒸発量	6.5L／h	8L／h
有効貯水量	40L	
給水方式	ポンプ揚水式　（タンク貯水）	
風向き調節	左右方向…自動スイング装置内蔵、上下方向…手動調整	
連続使用時間	5.3h	4.3h
安全装置	過負荷保護装置、水切れ自動検知装置、モータ過熱保護装置	
電動機の使用温度範囲	0℃～40℃	
ファン径	400mm	
外形寸法	幅550×奥行き550×高さ1,100mm	
製品質量	54kg（乾燥本体質量）	
備　考	上記仕様は、吸込み口空気条件が、周囲温度３０℃．相対湿度５０％で運転したときの値です。	

※最大風量は、JIS C9601 扇風機の風量算出方法に基づいて測定算出したものです。

3 各部の名称と付属品

各部の名称





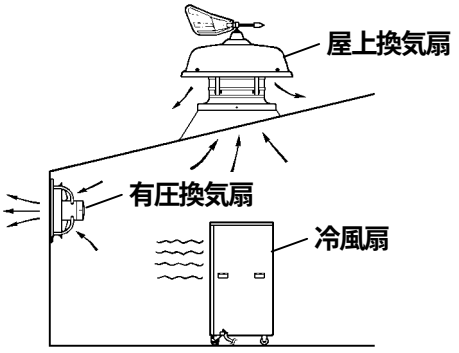
付属品

アース線　1.25mm^2×3m……1本

4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. 設置



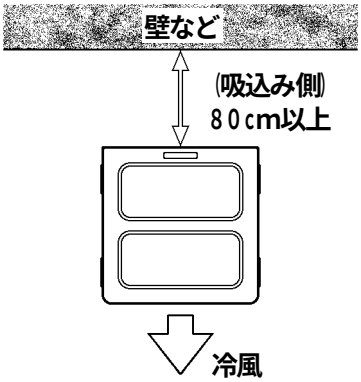
(1) 設置できる場所

① 換気設備が充分に整った空間。
締め切った狭い空間は、湿度が過剰に上昇することがあり、冷却効果が得られません。また、周辺機器に湿気による錆などを発生させる原因になる可能性があります。
弊社の有圧換気扇、屋上換気扇を併用していただければ、効果的な換気が得られます。

② 水平で振動のない場所。
傾斜や振動のある場所は、水漏れや本体転倒の原因になります。

③ 本機の吸込み側に、充分な空間(80cm以上)を確保できる場所。
吸込み側が壁面や障害物に接近し過ぎていると、吸込み風量不足となり、性能低下やモータの過熱防止装置が作動する原因になります。

④ 設置後は、前キャスターのストッパーをONにして、本機が動かないように固定してください。



(2) 設置できない場所

① 油が浮遊している環境。
循環水に油が混じり、使用できなくなる恐れがあります。クリーンな空気が吸い込める場所に設置してください。

② 塩酸、硫酸など著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所。

③ 粉じんや鉄粉が浮遊している環境。
ポンプ内部に入り込むと、故障の原因になります。

2. 本機と電源を接続

注記 電気工事は、有資格者もしくは認定を受けた電気工事店でなければ施工できません。

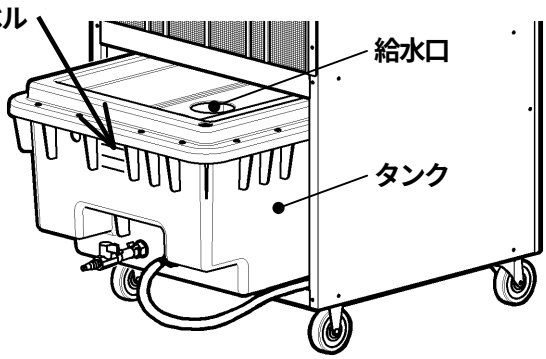
① 付属のアース線を、本機のアース端子に接続します。

② アース線の片側と電源コードを漏電ブレーカーに接続してください。
漏電ブレーカーは、１５Ａタイプ、感度電流３０mA以上、動作時間０.１sec 以下のものをご用意ください。

3. タンクへの給水

タンクの給水口から、水道水をタンク満水レベルまで(約４０Ｌ)注水してください。

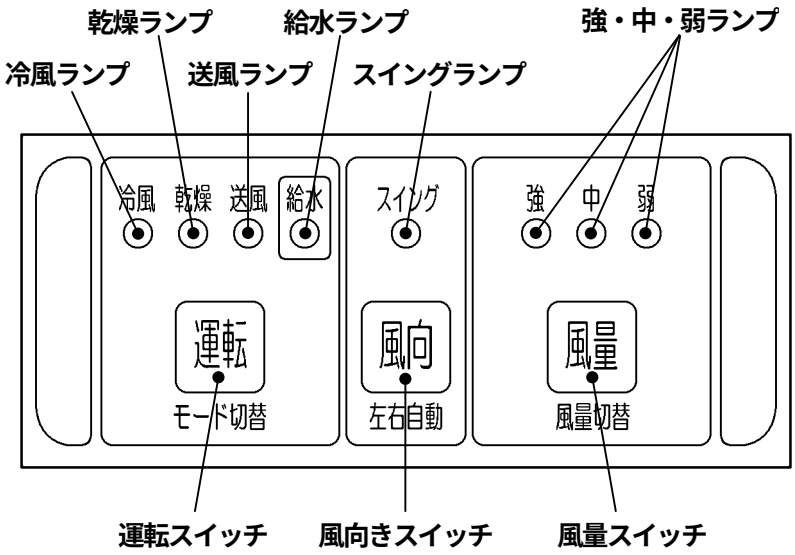
注記 井戸水や工業用水を使用すると、冷却ユニット内に藻や細菌が増殖しやすくなり、冷却効果が低下したり、悪臭発生の原因になります。
また、散水ノズルのつまりの原因になります。



5 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. 操作パネルの名称



2. 運転

① 運転スイッチを押すごとに「冷風」→「乾燥」→「送風」→「停止」と切替わります。

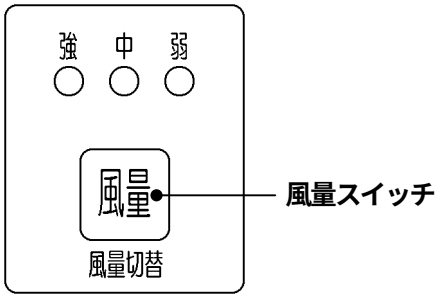
② 冷風運転を停止するときは、必ず乾燥運転をしてください。
乾燥運転をしないで停止すると、冷却エレメントに微生物が増殖したり、悪臭発生の原因になります。

運転スイッチ	ランプ	動　作
1回押し	冷風ランプ点灯	冷風運転を開始します。
2回押し	乾燥ランプ点灯	乾燥運転を開始します。 約１５分間の乾燥運転後、自動停止します。
3回押し	送風ランプ点灯	送風運転を開始します。※扇風機のように使用できます。（給水不要）
4回押し	全ランプ消灯	運転停止。

3. 風量調節

風量スイッチを押すごとに、風量が「強」→「中」→「弱」と切替わり、
ランプも風量に対応して「強」→「中」→「弱」と点灯します。

お好みの風量でご使用ください。



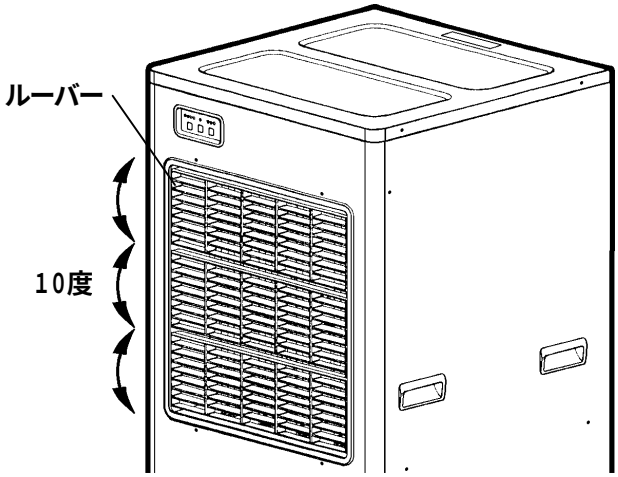
4. 風向き調節

注記 ①ルーバーの上下方向を調節するときは、ていねいに取り扱ってください。
＊無理をすると部分破損の原因になります。
②本機の中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
＊内部部品を傷めたり、故障の原因になります。

⑴ 水平方向

① 風向きスイッチを押すと、内蔵のルーバーが左右各３５度の範囲で動きます。
スイングランプが点灯します。

② もう一度風向きスイッチを押すと、ルーバーが止まり、風向きが固定されます。
スイングランプが消灯します。



⑵ 上下方向

上下の風向きは、手動で調節してください。
上下各１０度の範囲で任意の位置に固定できます。

5. 給水ランプ

① 冷風運転中に、タンク内の水が必要水位以下（残約６Ｌ以下）になると、給水ランプが点灯します。
同時に、ポンプが停止し、乾燥運転に移行します。

② 冷風運転を続行したいときは、タンクに規定量の水道水を給水し、運転スイッチを押して冷風運転にしてください。
給水ランプは、冷風運転にしないと消灯しません。（給水しただけでは消灯しません）

6. タンク

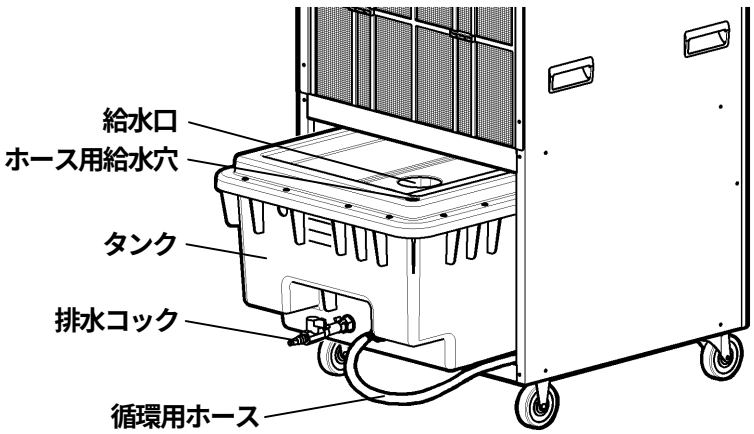
一週間に一度はタンク内の水を全て排水してください。
タンク内の汚れがひどい場合は、洗浄してください。
汚れたままで放置すると、水の腐敗や微生物の増殖により悪臭発生の原因になります。

① タンク内の水を排水してください。
排水コックを開くと簡単に排水できます。

② 本機からタンクを取出します。
タンクを少し浮かせてから手前に引き出し、循環用ホースを外すと取出せます。
循環用ホースは、ホースバンドをつまんで緩めてから抜いてください。

③ タンク内を洗浄します。

④ タンクを元の位置に取付けます。
このとき、循環用ホースが折れ曲がったり、タンクで潰したりしないようにご注意ください。
循環用ホースが折れ曲がると、循環水量が減り、冷却能力が低下したり、給水ランプが点灯する場合があります。



6 保護装置

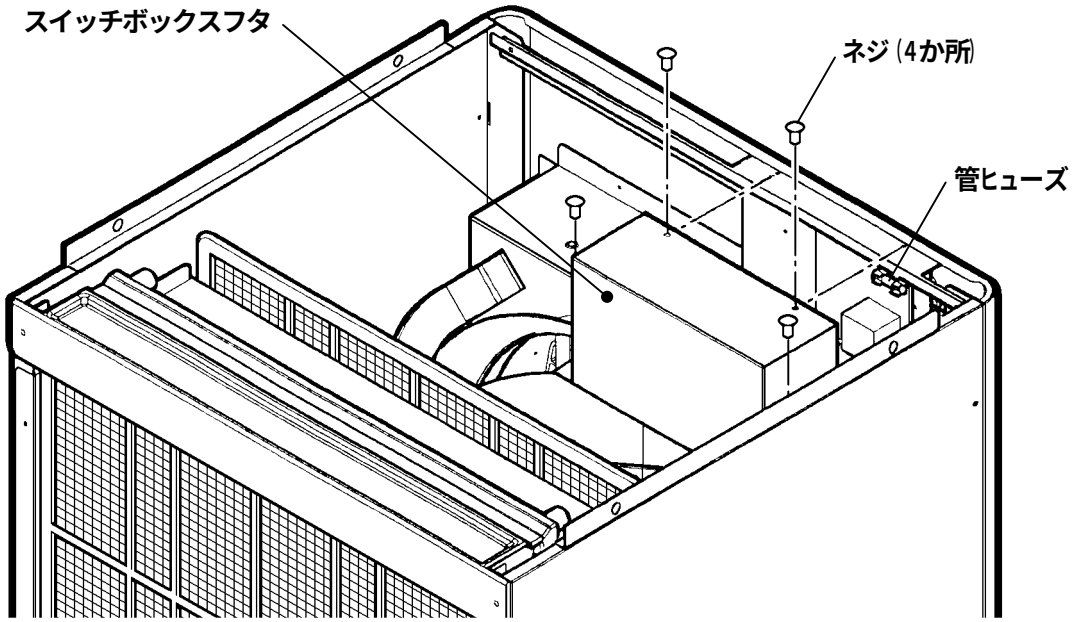
(1) 過電流保護ヒューズ (管ヒューズ125V 8A サイズφ5.2×20mm)

① 電気系統に過電流が流れると、電気回路を遮断し、自動的に運転を停止します。

② 過電流保護ヒューズが作動したときは、電源コードを抜き、電源系統を点検して作動原因を取除いてください。

③ 原因を取除いてから、管ヒューズを交換してください。
交換手順
1）天板を外します。（ネジ４か所）
2）スイッチボックスフタを外します。（ネジ４か所）
3）管ヒューズを交換します。
4）スイッチボックスフタと天板を元通りに取付けます。

注記	スイッチボックスフタを取付ける際は、センサーのリード線を挟まないようご注意ください。 ＊リード線を挟んだままでネジを締めるとリード線が断線し、正常な制御ができなくなる恐れがあります。



(2) 水切れ検知

タンクの水が規定量以下（残約６Ｌ以下）になるとスイッチが作動し、ポンプが停止します。
同時に給水ランプが点灯して、給水時期をお知らせします。

(3) ファンモータ用サーマルプロテクター

① モータに過電流が流れて異常過熱すると作動し、自動的にモータの回転を停止します。

② サーマルプロテクターが作動したときは、電源を遮断し、過電流が流れた原因（フィルターの目詰まりや、電源的な要因……相関アンバランスなど）を取除いてください。

③ サーマルプロテクターは作動後数分で自動復帰します。**点検の際は必ず電源を遮断**してください。

7 お手入れと保管

⚠ 危　険
保守・点検の際は、必ず元電源を遮断する。 ＊感電やケガの恐れがあります。

1. フィルターのメンテナンスと交換

汚れが目立ってきたり、冷風風量が少なくなってきたときは、フィルターのメンテナンスをしてください。

⑴ 吸気フィルター№1

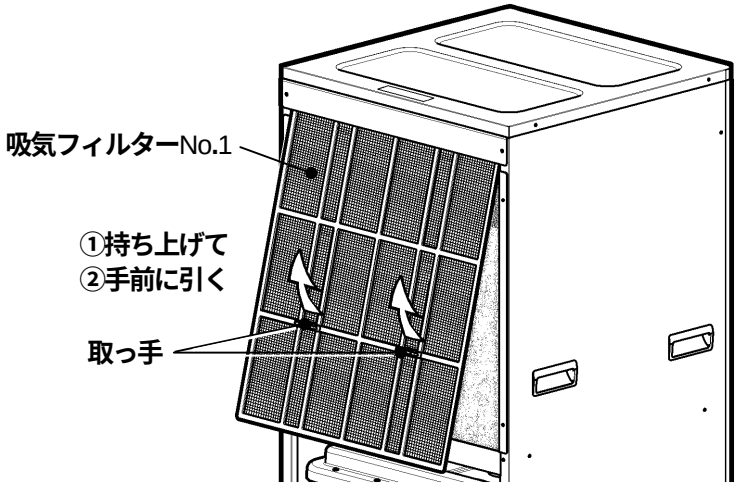
① 取っ手を持上げて手前に引くとフィルターが外れます。

② フィルター表面のほこりは、エアブローするか、掃除機で吸い取ってください。

③ 汚れがひどいときは、中性洗剤などを使って洗浄します。

④ 汚れが落ちないときや、フィルターが破れてしまったときは、新品に交換してください。

⑤ フィルターを元の位置に取付けてください。



⑵ 冷却エレメント

① 冷却エレメント表面の汚れは、エアブローするか、掃除機で吸い取ってください。

② 汚れがひどいときは、中性洗剤などを使って洗浄してください。

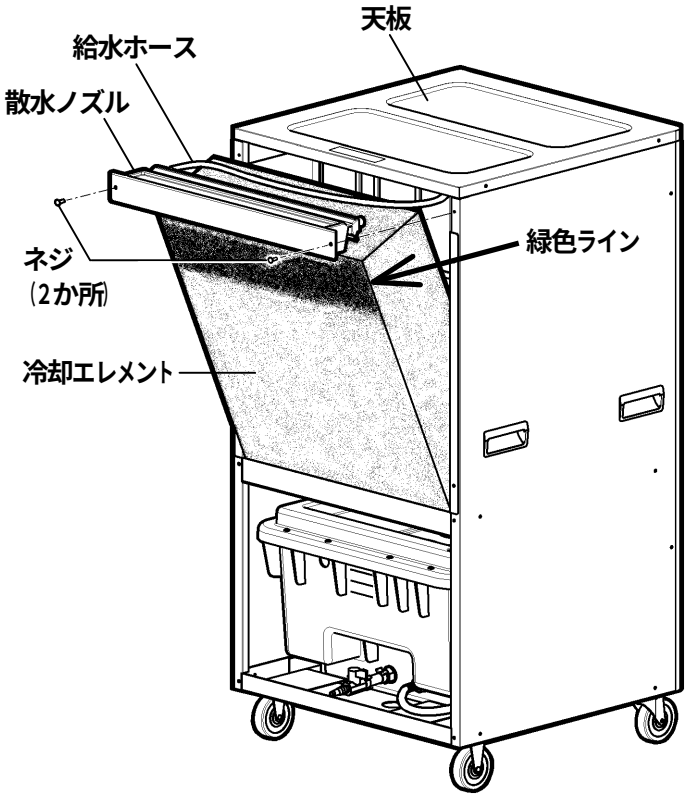
③ 汚れが落ちないときや、冷却エレメントが破れてしまったときは、新品に交換してください。

≪冷却エレメント取出し方法≫

① 吸気フィルター№１を外します。

② 散水ノズルを固定しているネジ（２か所）を外し、散水ノズルを外します。
散水ノズルは、天板の上に置いてください。
※散水ノズルには、給水ホースが接続されているので無理に引っ張らないでください。

③ 冷却エレメントの上部を手前に倒して取出します。



≪冷却エレメント取付け方法≫

注記	冷却エレメントの緑色ラインを下側にしたり、内面側に向けた状態で取付けないでください。 ＊冷却エレメントを間違った方向で取付けると、運転時に、冷風吹出し口から霧状の水が飛散する恐れがあります。

① 冷却エレメントの緑色ラインが外面側・上部になるように取付け方向を確認します。（前ページの図をご参照ください）

② 冷却エレメントを元の位置に取付けてください。

③ 散水ノズル、吸気フィルター№１を組付けてください。

(3) 吸気フィルター№2

① 天板を固定しているネジ（４か所）を緩めて、天板を外します。

② 吸気フィルター№２を抜取ってください。

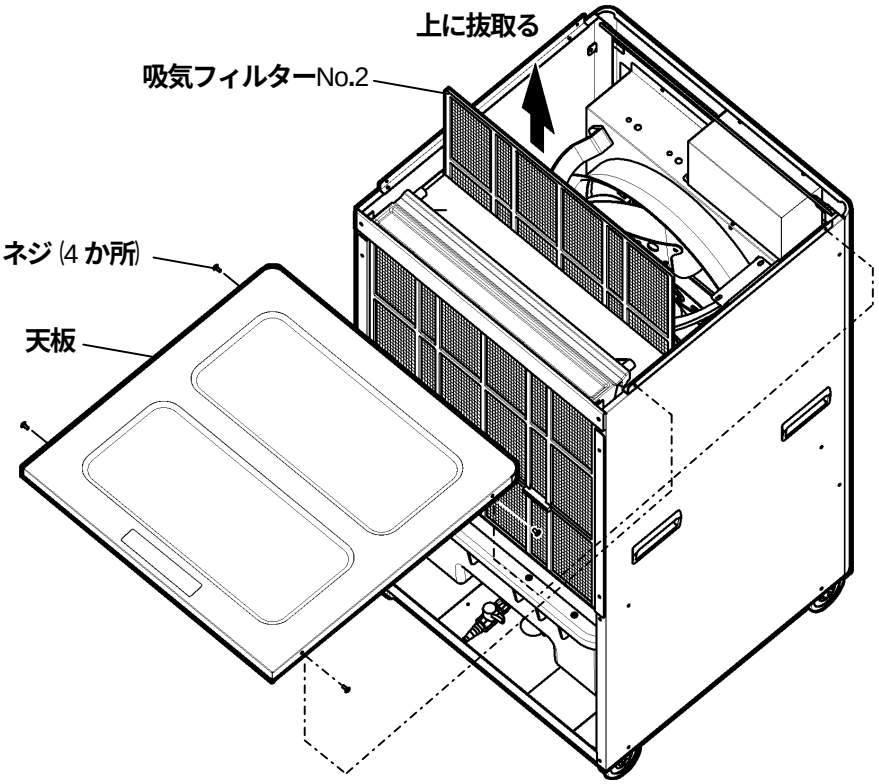
③ フィルター表面のほこりは、エアブローするか、掃除機で吸い取ってください。

④ 汚れがひどいときは、中性洗剤などを使って洗浄します。

⑤ 汚れが落ちないときや、フィルターが破れてしまったときは、新品に交換してください。

⑥ フィルターを元の位置に取付けてください。

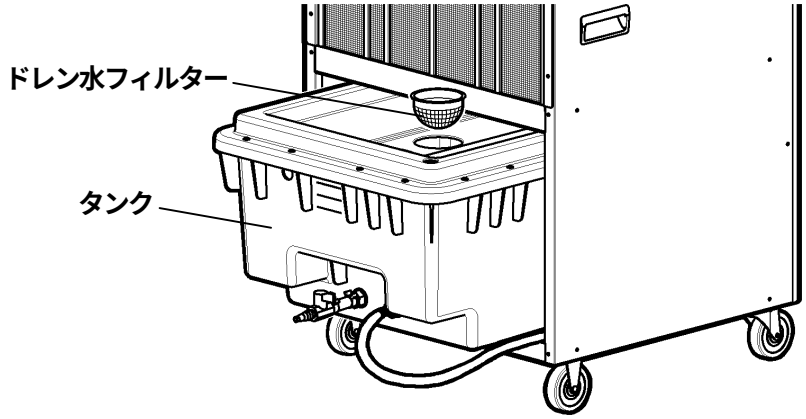
⑦ 天板を元の位置に取付けてください。



(4) ドレン水フィルター

ドレン水フィルターが目詰まりしてきたら、ゴミを取除き水洗いしてください。

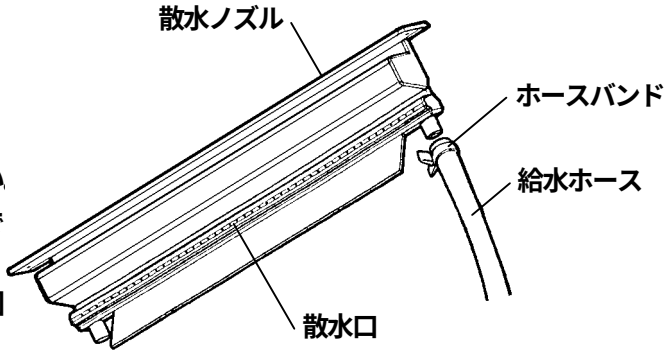
ドレン水フィルターは、タンクに差込んでいるだけなので、簡単に取出せます。



2. 散水ノズル

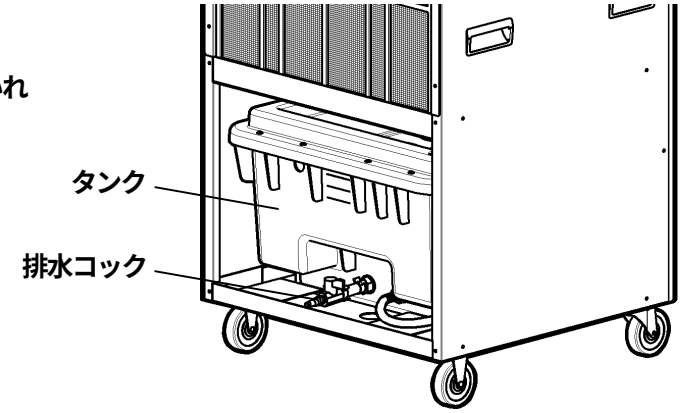
散水ノズルの散水口が詰まってきたら、掃除してください。

① 吸気フィルター№１を取外します。（９ページ参照）
② 散水ノズルを固定しているネジ（２か所）を外して、散水ノズルを外します。（９ページ参照）
③ ホースバンドをゆるめて給水ホースを外してください
④ 散水口に付着しているゴミをやわらかいブラシなどで取除き、水洗いしてください。
⑤ 散水ノズルに給水ホースを接続してホースバンドで固定してください。
⑥ 散水ノズル、吸気フィルター№１を組付けてください。



3. タンク

毎週、必ずタンク内の水を排水し、タンク内部が汚れていれば掃除してください。（７ページ参照）



4. 外装のお手入れ

外装の汚れは、乾いた布で拭くか、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いてください。中性洗剤でお手入れした後は、水拭きしてください。

注記	**シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、塗装面を傷めたり、故障の原因になりますのでご注意ください。**

5. シーズンが終わったら

① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
② 乾燥運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
③ タンク内の水を捨て、内部を洗浄後、乾燥させてください。
④ ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
⑤ 部品をなくさないように、保管してください。
⑥ 電源コードや延長コードも汚れを落とし、保管してください。

＊＊＊＊＊オプション品のご案内＊＊＊＊＊

自動給水装置

タンクの水量が規定量以下になると、自動的に給水できる「自動給水装置」をオプションで用意しています。
給水作業を自動化したいときは、本機をお買い上げの販売店にご用命ください。
なお、水道から自動給水装置までのホース（内径φ12）と、ホース固定用バンドは、お客様でご用意ください。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処　　置
電源（延長）コードは、傷んだり変形していませんか？	新しい電源（延長）コードに交換してください。
差込みプラグは、変形やガタがありませんか？	新しいプラグに交換してください。
電源コードと電源部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源（延長）コードと差込みプラグは、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
フィルター、冷却エレメントに、ホコリやゴミが詰まっていませんか？	フィルター、冷却エレメントを掃除してください。
フィルター、冷却エレメントは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルター、冷却エレメントは、破れていませんか？	新しいフィルター、冷却エレメントに交換してください。
吸込み口、送風口を障害物でふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。 本機と壁などとは80cm以上離して設置してください。
タンクは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
タンクは、破損していませんか？	新しいタンクに交換してください。
循環用ホースは、破れたり折れていませんか？	新しいホース（純正品）と交換してください。
キャスターは、磨耗していませんか？	新しいキャスターに交換してください。
キャスターのストッパーは、正常に働きますか？	
各スイッチは、正しく機能しますか？	6ページ「使用方法」を参考に動作確認をし、不具合がある場合は、お買い上げの販売店または、スイデン支店・営業所に点検・修理をご依頼ください。
異臭はありませんか？	フィルターの掃除、洗浄をしてください。 （9～10ページ参照）

9 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

調べるところ	⇨	直し方

●スイッチを入れてもファンやポンプが作動しない
●運転しない

電源が供給されていますか？(停電など)	⇨	元電源を確認してください。電源供給されていないときは、電力会社に連絡してください。
電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	⇨	電源プラグをコンセントに差込んでください。
電源コードが断線していませんか？	⇨	断線を直してください。
電源用ヒューズが切れていたり、ブレーカーが落ちていませんか？	⇨	電気の専門家がおられない場合は、電気工事店へご相談ください。

●ヒューズまたはブレーカーが切れる

ブレーカーの容量は充分にありますか？	⇨	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
電源電圧が低くなっていませんか？	⇨	電力会社にご相談ください。

●冷風運転にならない
●吹出し空気が冷たくならない、冷えない

冷風ランプが点灯している	換気不足ではありませんか？	⇨	周辺の湿度が高過ぎると適正な冷却効果が得られません。 窓や扉を開けて、充分換気をしてください。
	室内外の湿度が高いですか？	⇨	
	吸込みホースが折れ曲がっていませんか？	⇨	ホースの折れ曲がりを直してください。
	ポンプは正常に作動していますか？	⇨	お買い上げ販売店へご相談ください。
	本体内通水部分が目詰まりしていませんか？	⇨	お買い上げ販売店へご相談ください。
少し時間がたつと乾燥ランプが点灯する		⇨	給水ポンプのホースの中にエアーが入り、センサーが動作した可能性があります。 再度、冷風ランプが点灯するまで運転スイッチを押し、冷風運転にしてください。
乾燥ランプが点灯している		⇨	乾燥運転になっています。冷風ランプが点灯するまで運転スイッチを押してください。
送風ランプが点灯している		⇨	送風運転になっています。冷風ランプが点灯するまで運転スイッチを押してください。

（次ページに続く）

調　べ　る　と　こ　ろ	⇨	直　し　方

●冷風運転にならない

●吹出し空気が冷たくならない、冷えない

給水ランプが点灯している	タンクの水量が少ない	⇨	給水してください。 再運転するときは、運転スイッチを押してください。
	タンク水量は充分ある	⇨	給水ポンプのホースの中にエアーが入り、センサーが動作した可能性があります。 再度、冷風ランプが点灯するまで運転スイッチを押し、冷風運転にしてください。
フィルターがふさがれていませんか？		⇨	障害物を取除いてください。
フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？		⇨	フィルターを掃除してください。

●風量が少ない

吸気フィルター№１が目詰まりしていませんか？	⇨	吸気フィルター№１を掃除してください。
冷却エレメントが目詰まりしていませんか？	⇨	冷却エレメントを掃除してください。
吸気フィルター№２が目詰まりしていませんか？	⇨	吸気フィルター№２を掃除してください。

●機外へ水が漏れる

ドレン水フィルターが目詰まりしていませんか？	⇨	ドレン水フィルターを掃除してください。
排水系統の部品の締付けがゆるくないですか？	⇨	水漏れ箇所の接続をやり直してください。
排水系統の部品が破損していませんか？	⇨	お買い上げ販売店へご相談ください。
タンクが割れたり、亀裂が入っていませんか？	⇨	タンクを交換してください。
本体が水平に保たれていますか？	⇨	水平な状態でご使用ください。

●振動する

●騒音が発生する

ファンまたはファン周りに不具合はありませんか？	⇨	お買い上げ販売店へご相談ください。

●冷風に不快な臭いがする

冷却エレメントは清潔ですか？	⇨	冷却エレメントに雑菌が繁殖すると、冷風に不快な臭いが発生します。 冷却エレメントを交換してください。

■上記処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはスイデン・サービスショップ、最寄りのスイデン支店・営業所へご相談ください。

10 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後９年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。 お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用の冷風扇の点検を！

このような症状はありませんか？		お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検･修理をご相談ください。
	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	
所在地	
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	
お買い上げ年月日	年　月　日

株式会社スイデン
奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘3-26
ホームページ http://www.suiden.com

スイデン商品についてのお問い合わせは、最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

東京支店	☎(03) 3625-9003
大阪支店	☎(06) 6772-2241
名古屋支店	☎(052) 882-3621
福岡支店	☎(092) 471-6201
仙台営業所	☎(022) 255-9593
北関東営業所	☎(0277) 76-1805
静岡営業所	☎(054) 237-5172
富山営業所	☎(076) 441-2707
広島営業所	☎(082) 292-6311
高松営業所	☎(087) 843-4896
お客様相談室	0120-285-240

≪製品の廃棄について≫ 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。